

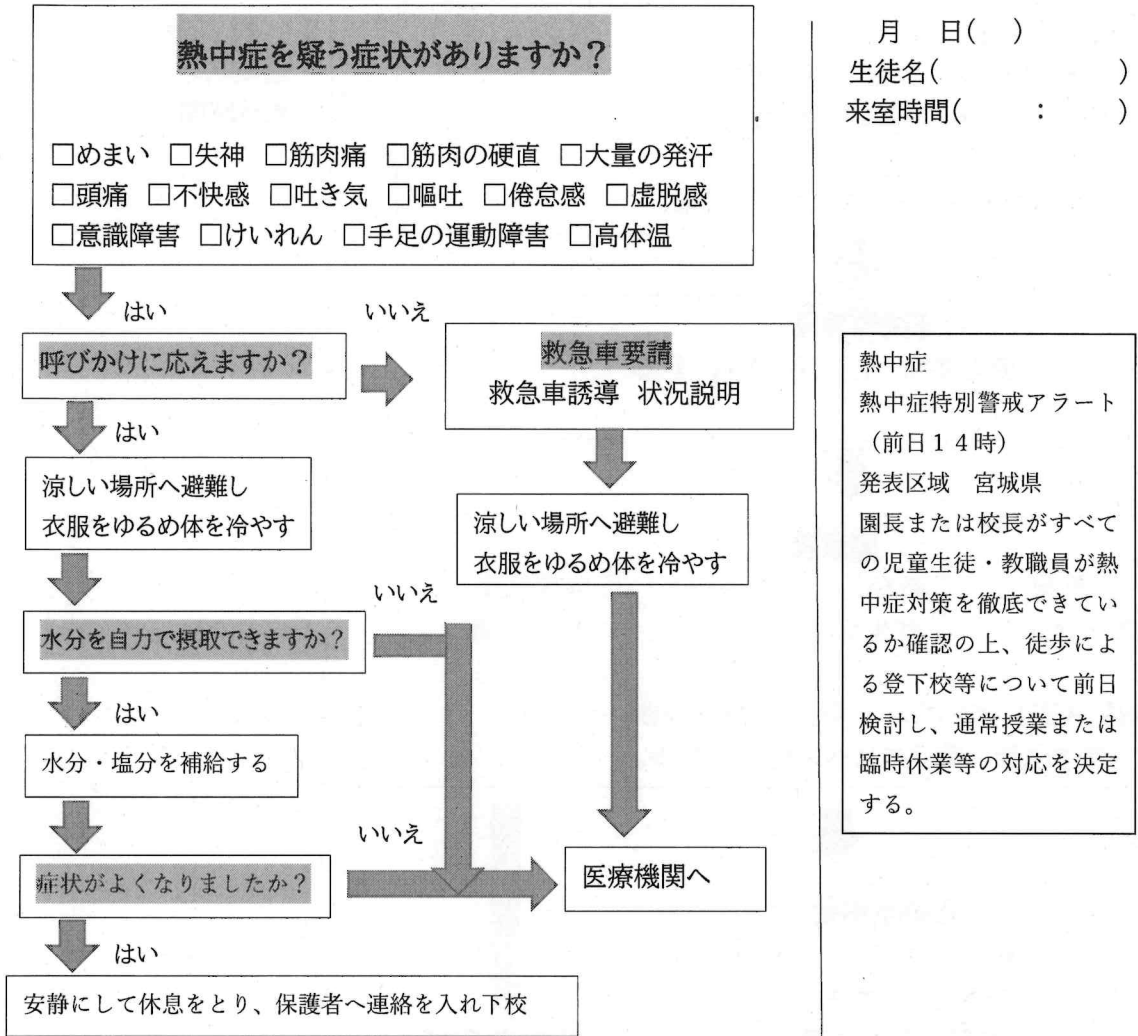
月 日()

生徒名(

発見時間(:

指令員の問い	回答
火事ですか、救急ですか？	救急です。
学校の住所・電話番号	石巻市湊東一丁目13番地1 0225-95-8351
どうされましたか？(状態の確認)	中学 年生(性別)・・・状況を説明 誰が・いつ・どこで・何をしていた・どうなった
分からない点は現場の教員や養教に大声で質問する。	
搬送する人の生年月日・年齢・既往	名簿を確認

湊中学校における熱中症の対応について



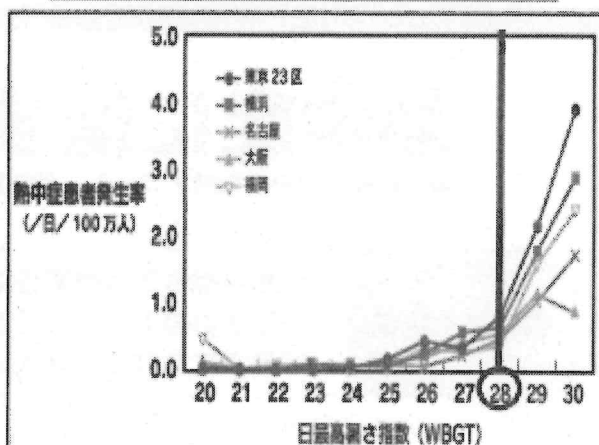
救急車要請時の対応

指令員の問い	回答
火事ですか、救急ですか？	救急です。
学校の住所・電話番号	石巻市湊東一丁目13番地1 0225-95-8351
どうされましたか？(状態の確認)	中学 年生(性別)・・・状況を説明
分からない点は現場の教員や養教に大声で質問する。	
搬送する人の生年月日・年齢・既往	名簿を確認

熱中症予防と対応について

危険な暑さ から 身を守る		暑さ指数 (WBGT)	
		気温 湿度 輻射熱を取り入れた温度の指標	
35以上		熱中症特別警戒アラート	
33～35未満		熱中症警戒アラート	
31～		危険	運動は原則中止
28～31未満		厳重警戒	激しい運動は中止
25～28未満		警戒	積極的に休息
21～25未満		注意	積極的に水分補給

暑さ指数28を超えると熱中症発生率上昇



	熱中症特別警戒アラート	熱中症警戒アラート
	都道府県内において、全ての暑さ指数情報提供地点における、翌日の日最高暑さ指数 (WBGT) が 35 (予測値) に達する場合等に発表	熱中症の危険性に対する「気づき」を促すものとして、府県予報区等内において、いずれかの暑さ指数情報提供地点における、翌日・当日の日最高暑さ指数 (WBGT) が 33 (予測値) に達する場合に発表
概要	・広域的に過去に例のない危険な暑さ等となり、人の健康に係る重大な被害が生じるおそれ ・校長や経営者、イベント主催者等の管理者は、全ての人が熱中症対策を徹底できているか確認し、徹底できていない場合は、運動、外出、イベント等の中止、延期、変更等を判断	・気温が著しく高くなることにより熱中症による人の健康に係る被害が生ずるおそれ ・身近な場所での暑さ指数 (WBGT) を確認し、涼しい環境以外では、運動等を中止
対策	・室内等のエアコン等により涼しい環境にて過ごす ・こまめな休憩や水分補給・塩分補給 ・身近な場所での暑さ指数を確認した上で、涼しい環境以外では原則運動は行わない等の対策 ・熱中症にかかりやすい熱中症弱者は自ら積極的に対策を実施し、周囲の方も声かけ	・こまめな休憩や水分補給・塩分補給 ・身近な場所での暑さ指数を確認した上で、涼しい環境以外では原則運動は行わない等の対策
	管理者がいる場所や、イベント等について、暑さ指数などの実測の上、責任者が、管理者がいる場所やイベント等において、適切な熱中症対策がとれていることを確認し、適切な熱中症対策が取れない場合は中止・延期の検討	管理者がいる場所や、イベント等について、暑さ指数などの実測の上、責任者が、管理者がいる場所やイベント等において、適切な熱中症対策がとれていることを確認

熱中症の予防と対応資料

アラートはいつ出る？(環境省より)

熱中症に関する情報

暑さ指数、熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラート等

暑くなる前に

- 熱中症やその対策等について学ぶ
- 住まいの工夫など(エアコンの試運転)
- 暑さになれて、暑さに強くなる準備(暑熱順化)

暑さ指数を提供している全国約840地点で、
気象情報を基に暑さ指数の予測値を算出

熱中症警戒アラート

前日17時頃に
該当地域に発表

当日5時頃に
該当地域に発表

熱中症特別警戒アラート

前日14時頃に
該当地域自治体に発表

当日0:00~23:59まで

■発表時

- ・熱中症予防行動の徹底
- ・家族や周囲の人々による見守り、声かけ等の共助等と公的な支援である共助も活用
- ・運動、外出、イベント等の中止や延期を検討推奨

共通する当日までの準備・確認事項

- ・涼しく過ごせる環境の確保
- ・水分、塩分補給の準備
- ・高齢者、乳幼児等熱中症にかかりやすい方への準備を確認
- ・翌日の運動、外出、イベント等の中止や延期を判断

※熱中症特別警戒アラート及び熱中症警戒アラートの発表後の取り消し、また解除の案内はございません

熱中症の予防と対応資料

学校での対応は？

暑さ指数 (WBGT 数値) 乾球温度(目安)	日常生活における 熱中症予防指針 (日本生気象学会)	熱中症予防のための運動 指針 (公財)日本スポーツ協会	学校の対応
WBGT 33℃以上 (運動は中止)	活動する区域に熱中症警戒アラートが発表された時(翌日の暑さ指数(WBGT)が 33℃以上になると予測された場合)は、活動場所での暑さ指数を確実に測定する。		
WBGT 31℃以上 危険 (運動は原則中止)	すべての生活活動で起こる危険性 外出はなるべく避け、涼しい室内へ移動する。	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合は中止すべき。	運動は、原則中止する。 屋内外で身体を動かす活動は、 原則中止 ※室内の集会等も実施形式を変更
WBGT 28～31℃ 厳重警戒 (激しい運動は中止)	すべての生活活動で起こる危険性 外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20 分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止	激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は中止する。 活動時間、場所、内容などを考慮した上で活動する。 活動内容の制限
WBGT 25～28℃ 警戒 (積極的に休憩)	中等度以上の生活活動で起こる危険性 運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休憩を取り入れる。	熱中症の危険度が増すので積極的に休憩を取り適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では30 分おきくらいに休憩をとる	積極的に休憩をとる。 激しい運動の場合は、30 分おきに1 回以上の休憩をとるとともに、水分・塩分を補給する。 安全対策に注意して実施
WBGT 21～25℃ 注意 (積極的に水分補給)	強い生活活動で起こる危険性 一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。	運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。 実施
WBGT 21℃以下 ほぼ安全 (適宜水分補給)		通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分、塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。	適宜水分・塩分の補給を行う。 実施

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れてない人

熱中症の予防と対応資料

熱中症予防の原則と指導のポイント

1 環境条件を把握し、それに応じた運動、水分補給を行うこと

- 直射日光の下で、長時間にわたる運動やスポーツ、作業をさせることは避ける。
- ランニングやダッシュの繰り返しによって多く発生している。
- 屋内外にかかわらず、長時間の練習や作業は、こまめに水分(0.1~0.2%食塩水あるいはスポーツドリンク等)を補給し適宜休憩を入れる。また、終了後の水分補給も忘れないようにする。

2 暑さに徐々に慣らしていくこと

- 梅雨明けなど急に暑くなった時に多く発生する傾向がある。夏以外でも急に暑くなると熱中症が発生する。
- 急に暑くなった時は運動を軽くして、1週間程度で徐々に慣らしていく必要がある。

3 個人の条件を考慮すること

- 暑さの耐久性は個人差が大きく影響する。
- 肥満傾向の者、体力の低い者、暑さに慣れていない者は運動を軽減する。
- 特に肥満傾向の者は熱中症事故の7割以上を占めており注意が必要である。

4 服装に気をつけること

- 服装は軽装とし、吸湿性や通気性のよい素材にする。
- 屋外で運動やスポーツ、作業を行うときは、帽子をかぶらせ、できるだけ薄着をさせる。

5 具合が悪くなった場合には早めに運動を中止し、必要な処置をすること

- 常に健康観察を行い、児童生徒等の健康管理に注意する。
- 運動技能や体力の状況、疲労の状態等を把握するように努める。
- 心身に不調を感じたら申し出て休むよう習慣付け、無理させないようにする。

「子供たちの命を守る熱中症事故予防対策に向けて【学校における熱中症対策ガイドライン】」P6

宮城県教育委員会より令和6年5月

熱中症特別警戒アラートが出たら…

暑さ指数実測→管理者が全ての人が熱中症対策を徹底できているか確認

→徹底できていない場合は、運動、外出、イベント等の中止、延期、変更等を判断とあるので、

例) 徒歩による登下校は大丈夫か?(全校バス通学だと安全?)

授業を打ち切りにして下校、保護者引渡しにして下校、臨時休校等を検討する必要も。

※学校安全マニュアルにも記載が必要

熱中症の予防と対応資料

熱中症特別警戒アラート(前日14時): 園長または校長が全ての児童生徒・教職員等が熱中症対策を徹底できているか確認の上、徒歩による登下校等について前日検討し、通常授業または臨時休業等の対応を決定する。

学校プールにおける熱中症対策は？

平成 30 年度スポーツ庁委託事業「学校屋外プールにおける熱中症対策」より

学校プールにおける熱中症予防対策の検討には、環境要因、運動要因、主体要因への対策が必要になります。プールでの活動は、水中での活動とプールサイドでの活動に大別されるため、それぞれの活動への対策が必要になります。

(1) 水中での活動の留意点

- 水温が中性水温(33℃～34℃)より高い場合は、水中でじっとしていても体温が上がるため、体温を下げる工夫をしましょう。体温を下げるには、プール外の風通しのよい日陰で休憩する、シャワーを浴びる、風当たる等が有効です。中性水温以下であれば、水が体を冷却してくれますので、水中運動は陸上運動より体温は上がりにくいです。

(中性水温:水中で安静状態のヒトの体温が上がりもし下がりもしない水温)

- 水着での活動であり、また、運動強度が高いという水泳の特性等を考慮しましょう。
- 口腔内が水で濡れるため、のどの渇きを感じにくくなりますが、適切な水分補給を行いましょう。

① 環境要因

	要 因	対 策
プールの水温	● プールサイドの温度及び輻射熱と相関関係が認められる。	● 前日から水面をシートなどで覆い、水温上昇を抑制する。 ● 散水によりプールサイドを冷却する。
プールサイドの温度	● 直射日光を遮る物体がないので輻射熱が大きい。 ● プールサイドが高温になる。	● 遮光ネットやテント等により、直射日光を遮蔽する。 ● 散水によりプールサイドを冷却する。
更衣室の温度	● 冷房がないことが多く、温度が高くなりやすい。	● 更衣室の換気をよくする。 ● 使用しないときはドアを開け換気する。 ● 扇風機等で気流を大きくする。 ● 滞在時間を短くする。

② 運動要因

	要 因	対 策
運動強度・運動時間	● ゆっくり泳いでも、安静時の4倍以上の代謝量があり、運動強度が高い。 ● 部活動及び水泳教室などの場合は運動時間が長い。	● 能力に応じた運動(個人差)を考慮する。 ● 頑張りすぎないように注意する。 ● 強度に合わせて休憩時間を設定する。
水泳中の体温	● 中性水温以下の水温でも頭部には直射日光が当たる。 ● 水温が高いと体温が上昇しやすい。	● 頭部も適宜水中にて冷却する。 ● 水温が高いときには、こまめにプールから出て風通しのよい日陰で休憩する。 ● シャワーで全身を冷やす。 ● 風(送風)によって体を冷やす。
水分補給	● 水中運動時にはかなりの汗をかく。 ● 口腔内が水で濡れるため、のどの渇き(口渴感)を感じにくい。	● 安全や衛生状態を考慮した給水所を設置する。 ● 発汗量に応じた水分補給を欠かさない。 ● ふだんよりのどの渇きを感じないことを意識する。

熱中症の予防と対応資料

学校プールにおける熱中症対策は？

平成 30 年度スポーツ庁委託事業「学校屋外プールにおける熱中症対策」より

学校プールにおける熱中症予防対策の検討には、環境要因、運動要因、主体要因への対策が必要になります。プールでの活動は、水中での活動とプールサイドでの活動に大別されるため、それぞれの活動への対策が必要になります。

(1) 水中での活動の留意点

- 水温が中性水温(33℃～34℃)より高い場合は、水中でじっとしていても体温が上がるため、体温を下げる工夫をしましょう。体温を下げるには、プール外の風通しのよい日陰で休憩する、シャワーを浴びる、風に当たる等が有効です。中性水温以下であれば、水が体を冷却してくれますので、水中運動は陸上運動より体温は上がりにくいです。

(中性水温:水中で安静状態のヒトの体温が上がりも下がりもしない水温)

- 水着での活動であり、また、運動強度が高いという水泳の特性等を考慮しましょう。
- 口腔内が水で濡れるため、のどの渇きを感じにくくなりますが、適切な水分補給を行いましょう。

① 環境要因

	要 因	対 策
プールの水温	● プールサイドの温度及び輻射熱と相関関係が認められる。	● 前日から水面をシートなどで覆い、水温上昇を抑制する。 ● 散水によりプールサイドを冷却する。
プールサイドの温度	● 直射日光を遮る物体がないので輻射熱が大きい。 ● プールサイドが高湿になる。	● 遮光ネットやテント等により、直射日光を遮蔽する。 ● 散水によりプールサイドを冷却する。
更衣室の温度	● 冷房がないことが多く、温度が高くなりやすい。	● 更衣室の換気をよくする。 ● 使用しないときはドアを開け換気する。 ● 扇風機等で気流を大きくする。 ● 滞在時間を短くする。

② 運動要因

	要 因	対 策
運動強度・運動時間	● ゆっくり泳いでも、安静時の4倍以上の代謝量があり、運動強度が高い。 ● 部活動及び水泳教室などの場合は運動時間が長い。	● 能力に応じた運動(個人差)を考慮する。 ● 頑張りすぎないように注意する。 ● 強度に合わせて休憩時間を設定する。
水泳中の体温	● 中性水温以下の水温でも頭部には直射日光が当たる。 ● 水温が高いと体温が上昇しやすい。	● 頭部も適宜水中にて冷却する。 ● 水温が高いときには、こまめにプールから出て風通しのよい日陰で休憩する。 ● シャワーで全身を冷やす。 ● 風(送風)によって体を冷やす。
水分補給	● 水中運動時にはかなりの汗をかく。 ● 口腔内が水で濡れるため、のどの渇き(口渴感)を感じにくい。	● 安全や衛生状態を考慮した給水所を設置する。 ● 発汗量に応じた水分補給を欠かさない。 ● ふだんよりのどの渇きを感じないことを意識する。

熱中症の予防と対応資料

暑さ指数(WBGT)とは

暑さ指数(WBGT:湿球黒球温度)とは、人間の熱バランスに影響の大きい

気温 湿度 輻射熱 ふくしゃねつ ※1

の、3つを取り入れた温度の指標※2

暑さ指数(WBGT)は、気温を乾球温度計、湿度((皮膚の汗が蒸発するときに感じる涼しさの度合い)を湿球温度計、輻射熱は黒球温度計による計測値を使って計算されます。

※1 輻射熱とは、日射しを浴びたときに受ける熱や、地面、建物、人体などから出ている熱です。温度が高い物からはたくさん出ます。ひなたにおける体感温度と良い相関がある。

※2 正確には、これら3つに加え、風(気流)も指標に影響します。

生活の場の暑さ指数(WBGT)とは

- ① 実際の生活の場では、強制的な通風がないだけでなく、周囲に高温のビル壁面やアスファルト舗装路面などがあり、より厳しい暑熱環境になっていると推定されます。
- ② 実際の生活の場は千差万別で、暑さ指数(WBGT)は当サイトの推定値とは異なります。それぞれの生活環境では、暑さ指数(WBGT)を観測(観測できない場合は少なくとも気温を観測)して、暑さに対し十分な注意を払ってください。

【通常の暑さ指数】風通しの良い芝生上での暑さ指数(秒速5m程度の強制通風条件のもと)比較的良好な条件(暑さ指数が高くなりにくい場所)で観測または予想される暑さ指数

【駐車場】日陰のないアスファルトの舗装の大幅な駐車場の想定

アスファルト舗装が温まる午後からは、通常の暑さ指数よりも高くなり、夜遅くまで暑さ指数が高い状態が続く。日射などを遮るものが少ないので、子供や作業者の体感温度はさらに高くなる。

【交差点】片側3車線道路のような大きな交差点を想定

風通しがよいので日中は通常の暑さ指数とほぼ同程度。夜間はアスファルト舗装が熱を持つ影響で、通常の暑さ指数よりも高くなる。

【子供・車いす】地表面に近い高さの場所(高さ50cmを想定)

暑さ指数は平均して0.1~0.3℃高くなる。風が弱く、日射が強い時には2℃程度高くなった事例もあり。地表面からの影響を受けやすいため、対策を心掛ける必要がある。

【体育館】エアコンなどの空調設備がない学校の体育館を想定

暑さ指数は、午後1時頃から体育館の方が高くなり、午後5~6時頃に最大となる。体育館内は通常風がなく、建物が鉄骨や金属屋根などで造られていて熱をためやすい構造にある。

熱中症の予防と対応資料

食物アレルギー緊急時対応マニュアル

異変に気が付いたら子どもから目を離さない

助けを呼び、人を集める

迷ったらエピペンを打つ！

ただちに110番通報

下の症状から重症度を判定し、速やかに対応する

全身の
症状

- ☐ ぐったり
- ☐ 意識もうろう
- ☐ 尿や便をもらす
- ☐ 脈が触れにくいまたは不規則
- ☐ 唇や爪が青白い

少なくとも5分ごとに、繰り返し症状を観察
経過・内服・エピペン使用の時刻を記録

呼吸器
の症状

- ☐ のどや胸が締め付けられる
- ☐ 声がかすれる
- ☐ 犬が吠えるような咳
- ☐ 息がしにくい
- ☐ 持続する強い咳き込み
- ☐ ゼーゼーする呼吸

☐ 数回の軽い咳

消化器
の症状

- ☐ 持続する強いお腹の痛み
(がまんできない痛み)
- ☐ 吐き続ける

- ☐ 中程度のお腹の痛み
- ☐ 1～2回のおう吐
- ☐ 1～2回の下痢

- ☐ 軽いお腹の痛み
(がまんできる)
- ☐ 吐き気

目・口・
鼻・顔面
の症状

上記の症状が
1つでもあてはまる場合

- ☐ 顔全体の腫れ
- ☐ まぶたの腫れ

- ☐ 目のかゆみ、充血
- ☐ 口の中の違和感、唇の腫れ
- ☐ くしゃみ、鼻水、鼻づまり

目・口・
鼻・顔面
の症状

緊急

- ☐ 強いのかゆみ
- ☐ まぶたの腫れ
- ☐ 全身が真っ赤

- ☐ 軽度のかゆみ
- ☐ 数個のじんま疹
- ☐ 部分的な赤身

上記の症状が
1つでもあてはまる場合

受診

上記の症状が
1つでもあてはまる場合

注意

- ① エピペンを使用
- ② 救急車を要請 (119 番通報)
→ 緊急時連絡先医療機関に連絡
→ 保護者に連絡
- ③ その場で安静を保つ
→ 立たせたり、歩かせたりしない
- ④ その場で救急隊を待つ
- ⑤ 可能なら内服薬を飲む

- ① 内服薬を飲ませ、
エピペンを準備
- ② 速やかに医療機関を
受診 (救急車の要請
も考慮)
- ③ 急速に進行する場合
→ 「緊急」の対応

- ① ひつよう内服薬を飲
ませる
- ② 「急速に進行する」
又は「悪化が予想さ
れる」場合→ 「受
信」「緊急」の対応
- ③ 少なくとも1時間は

湊中学校におけるウィルス感染症対応について

生徒は保護者とともに自宅で健康観察を行う⇒昇降口前で職員が体調確認⇒教室で個人健康観察表を記入
⇒担任による健康観察⇒養護教諭が確認

- ☐ 発熱がある。
- ☐ 強いだるさ(倦怠感)がある。
- ☐ 嗅覚・味覚障害がある。
- ☐ 呼吸苦がある。(SpO₂ 95%以下)
- ☐ 恒常的な咳

1つでもチェックがあれば早退対応。

生徒は1階会議室2で待機

東階段を通り
1階へ移動

【報告】

☐校長 ☐教頭 ☐教務 ☐担任 ☐学年主任

保護者へ連絡

引き渡し

旧職員玄関から引き渡す。

事後確認

保護者から確実に連絡をもらう。

月 日()

生徒名()

来室時間() :

養護教諭が生徒対応

連絡した時間

() : ()

迎えが到着した時間

() : ()

迎えに来た人

(母 父 祖母 祖父)

受診結果

()

容態

()

今後の対応

PCR の時は検査を受けた

医療機関名

検査日時(分まで)

検査前1週間の動向確認

※検温をしてこなかった生徒は、その場で養護教諭が非接触式体温計で測定する。

※保護者へ引き渡す際、必ずその日のうちに受診し結果を報告していただけるように伝える。

不審者対応について

(1) 日常の安全確保（事前の対策）

①防災につながる整備体制

- ・不審者侵入に対する安全管理について教職員間で意見・情報交換等を行い共通理解を図るとともに、防災危機管理意識を高める
- ・警察との情報共有、不審者対応訓練(警察に協力依頼)の実施

②不審者の校地内侵入を防ぐ体制の確立

- ・職員駐車場から校庭へ抜ける通路へバリケードを設置し、車両等が侵入できないようにする。
- ・生徒登下校時間中は昇降口前(外)に教職員が待機し、生徒の様子を見守る。
- ・昇降口は常時施錠し、来校者への対応はインターホンを通じて行う。
- ・正門以外の門は常時施錠しておく。
- ・夜間・休日は校門を閉じる。(ただし、冬季は凍結防止のため開放しておく)

③生徒への指導

- ・不審な人物を確認したら、速やかに近くの教職員に知らせること。
- ・登下校時は通学路を守ること。
- ・休日に部活動等で登校したときも、終了・下校時刻を守ること。
- ・登下校時や放課後等に不審な人物に遭遇したら、付近の民家や商店、子ども110番の家等に助けを求め、速やかに警察と学校に連絡を入れること。また、湊交番が近い場合は交番に助けを求め、学校にも連絡を入れること。

④校外学習や学校行事での安全確保

- ・事前に行動計画を綿密に立てる。
- ・事故や事件に遭遇した場合の各機関への連絡方法について、事前に確認しておくこと。

(2) 緊急時の安全確保

①不審者情報がある場合の対応

- ・速やかに警察に連絡し、連携を図る。
- ・情報の内容によっては近隣の学校とも情報交換し、生徒の登下校について検討する。
- ・生徒の下校が危険と判断した場合は、学校待機または保護者引き渡しを実施する。
→その場合、速やかに学校メール配信等で保護者に連絡を取り、現状を伝える。
- ・下校後も危険が生じると判断した場合は、教職員が警察と連携を図りながら学区内巡視を行う。

②不審者侵入等の緊急時の対応

- ・「不審者対応マニュアル」に従い、組織的に対応する。
- ・警察、教育委員会等への連絡を速やかに行う。
- ・少年補導員担当教員から地区の少年補導員に働き掛け、学区内巡視パトロール等の実施を依頼する。

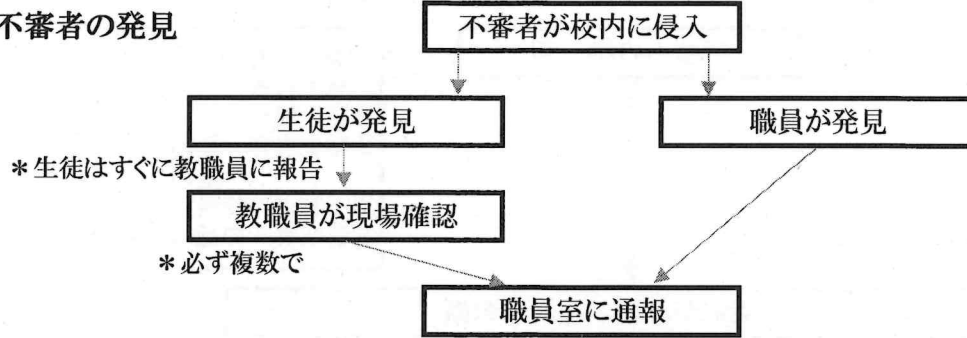
(3) 事後の対応や措置

- ・事故等の概要を整理する。必要に応じて、保護者等への説明を行う。
- ・状況に応じて生徒等の心のケアを実施する。
- ・報告書の作成、災害救済給付等の請求
- ・教育再開の準備及び事故等の再発防止対策の実施

◆防犯情報の共有 ※不審と感じたら警察(110番)へ通報

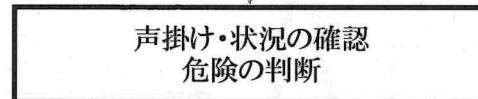
不審者対応マニュアル①〔在校時〕

1. 不審者の発見

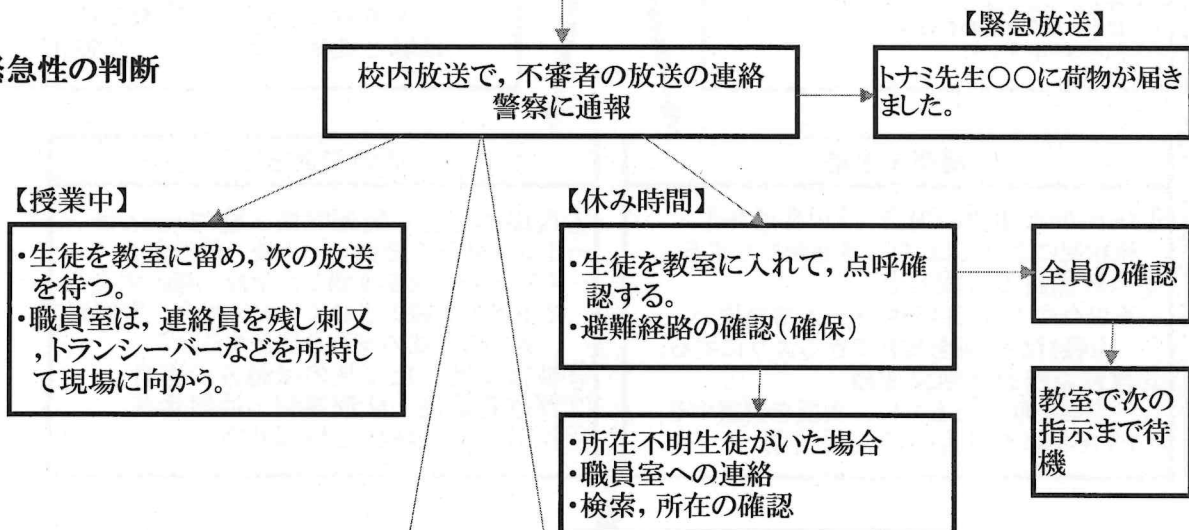


2. 不審者の確認

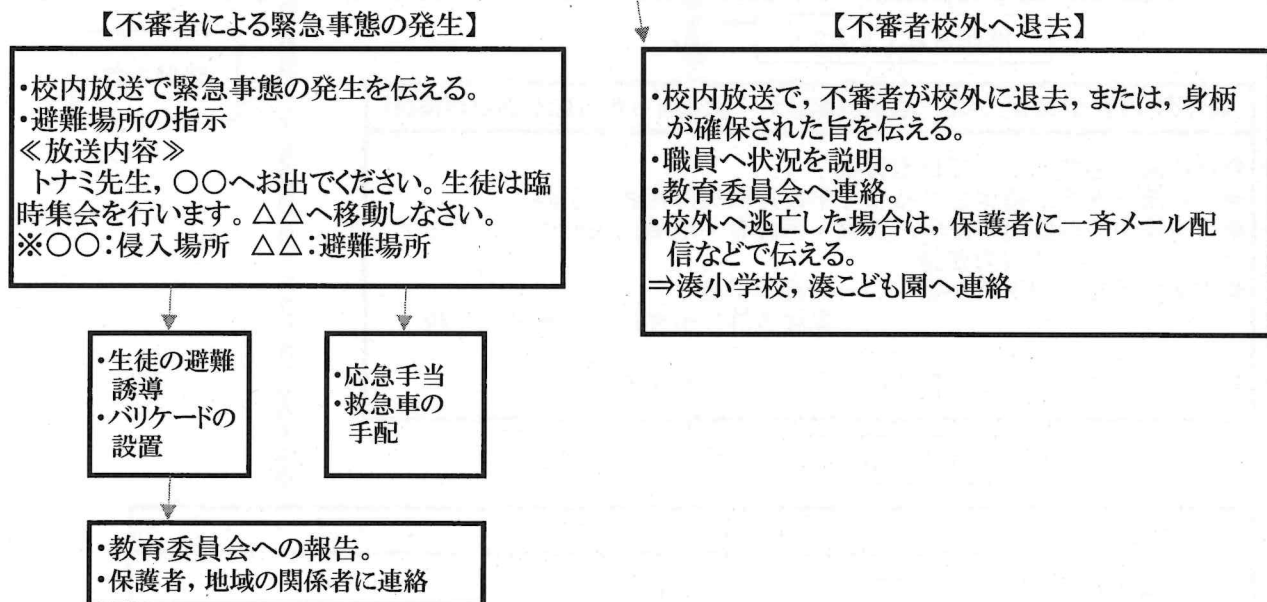
- * 生徒を近付けない
- * 危険物の所持の確認



3. 緊急性の判断

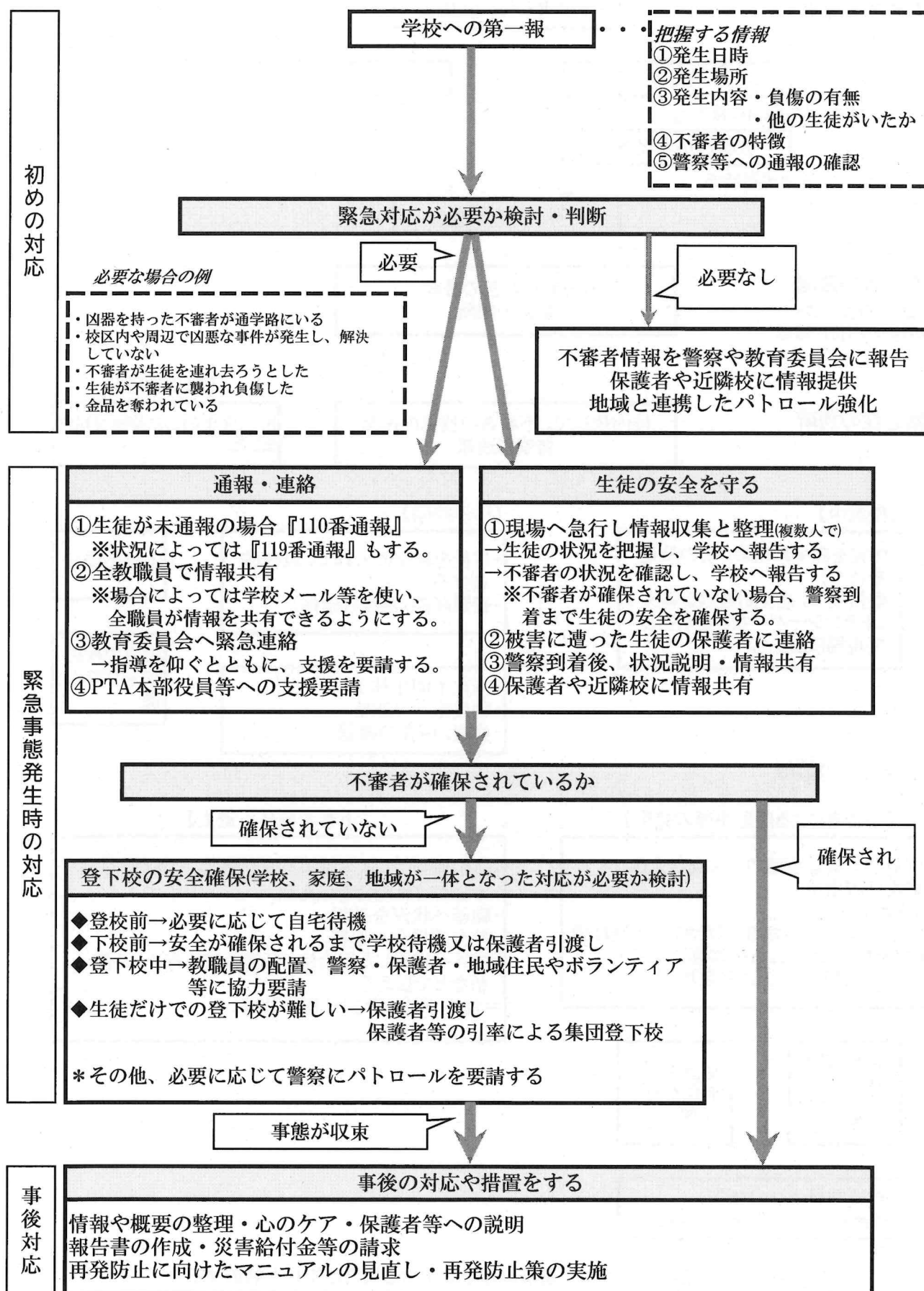


4. 不審者への接触

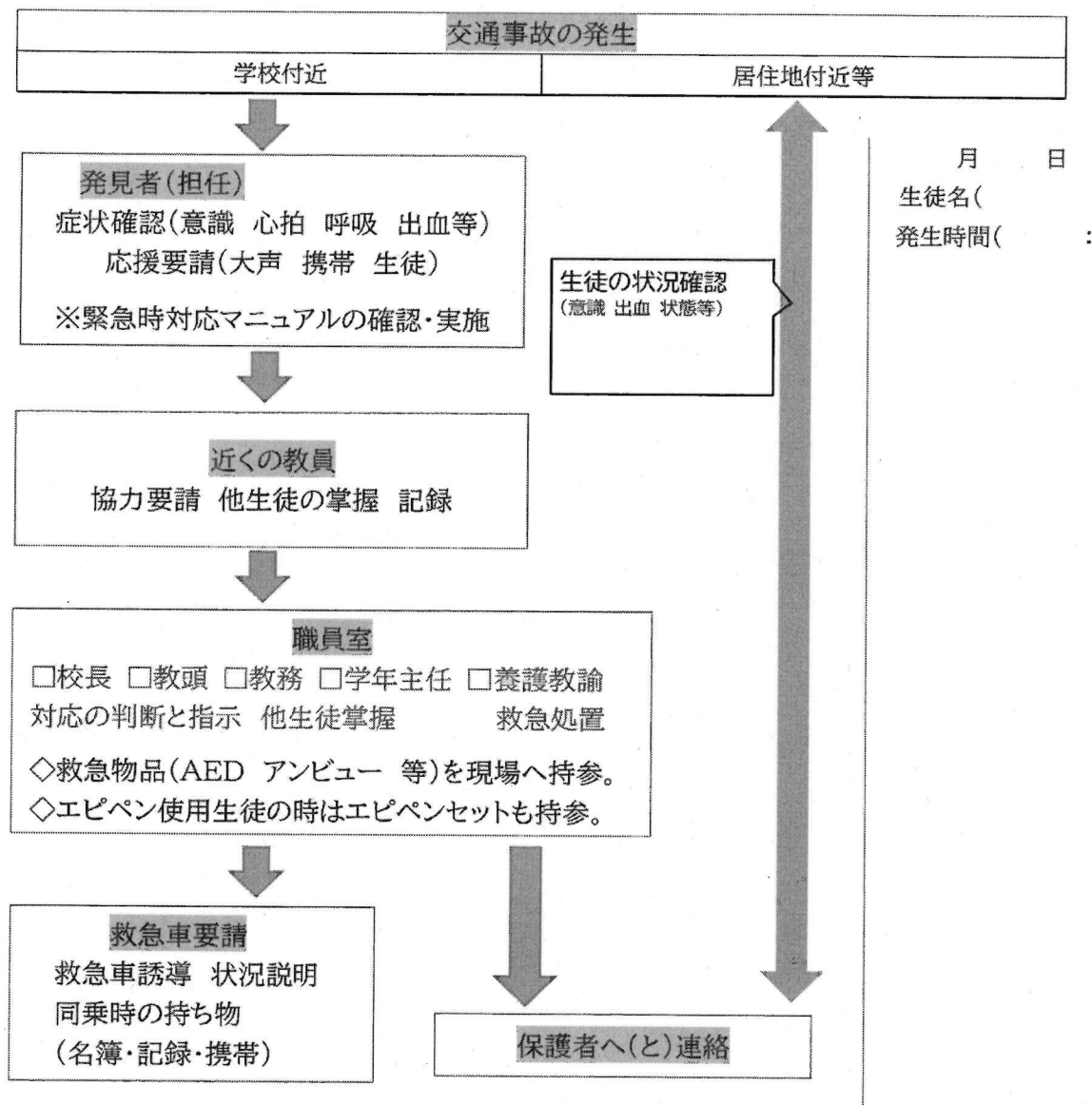


* 不審者の発見場所によって、避難経路を変更する場合は担任が判断する。

不審者対応マニュアル②〔登下校時〕



湊中学校における交通事故発生時の対応について



救急車要請時の対応(119番)

指令員の問い	回答
火事ですか、救急ですか？	救急です。
学校の住所・電話番号	石巻市湊東一丁目13番地1 0225-95-8351
どうされましたか？(状態の確認)	中学 年生(性別)・・状況を説明 誰が・いつ・どこで・何をしていた・どうなった
分からない点は現場の教員や養教に大声で質問する。	
搬送する人の生年月日・年齢・既往	名簿を確認

